

一丁目通信

2016年2月[0078号]

Arts-eihan

発行: 株式会社アーツエイハン

WEB: <http://eihan.com> Mail: info@eihan.com

〒160-0022

東京都新宿区新宿1-18-13 協建新宿一丁目ビル

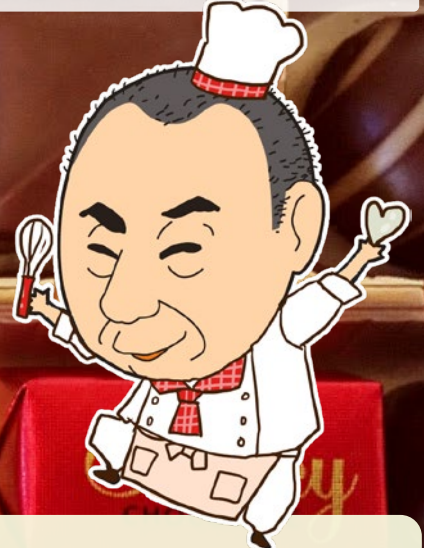
電話: 03-3355-1241 FAX: 03-5362-9325

はやいものでもう立春。

部屋に差し込む日差しは明るく、

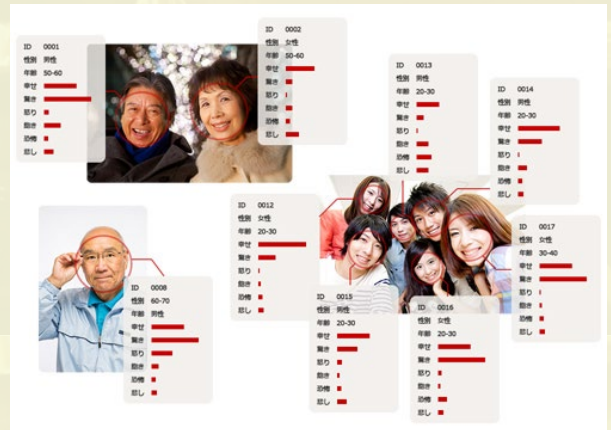
春の兆しを感じられる。本当の春ももうすぐ・・・

代表取締役 飯塚吉純



2016年は顔認識デジタルマーケティング？

デジタルサイネージという言葉を知ったようになってから、早10年。当社もデジタルサイネージのコンテンツ制作や、ハードシステムの様々なサービスのご提案を行ってまいりました。本年は新たな取り組みとしてデジタルサイネージなどに活用できる、「顔認識マーケティング」のシステム開発に本格的に取り組む事に致しました。顔認識技術により視聴者（お客様）の顧客属性を取得し、情報分析～サイネージ等の効果測定を可能にした顔認識マーケティングソリューションです。顔認識技術は、性別、年齢、人数だけでなく視聴者の顔の表情から、感情を解析し、「普通」「幸せ」「驚き」「不安」などの感情推定を瞬時に解析できる画期的なシステム。とはいえ、様々なハードルがあるのも紛れもない事実。試行錯誤、トライアンドエラーの繰り返しですが、チャレンジャーとして皆様に早く披露できるように頑張っていきたいと思っております。（ご興味のある方は、ご連絡ください。face@eihan.com）



代表取締役 飯塚吉純

できるかな？3D映像

記事: 映像仕事人 板垣勇児



うものになるのですが、PCでの編集はアナグリフ方式で行います。いわゆる赤と青が混じった映像で、雑誌付録についてくるような赤青メガネを利用して視差調整します。次に、実際にどう映っているかを3DTVでチェックするのですが、この時は偏光メガネを利用します。そして現場がプロジェクタですので、最終的にアクティブシャッターメガネを使って現場チェックしなければなりません。このようにディスプレイによって専用の3Dメガネが必要なのです。

アスファルトは痛いです

皆様が最後に転けたのはいつでしょうか。私は今朝です。

先日降った雪が凍結している箇所に、安易な気持ちで踏み込んでしまったのです。車が来たから避けよう、と道路の端に向かって進んだ瞬間に、つるんときれいにお尻からすっ転びました。凍結した道路を甘く見ていたのでしょうね…馬鹿なことをしました。

通過していく2台の車、立ち上がる私。後ろを歩く人々、歩き出す私。恐ろしいです。もうこんな思いはしたくないので、凍結した道路で転倒しない歩き方を調べました。

①歩幅を狭くする②足の裏をまっすぐにする③かかとから着地しない

まだまだ、雪が降るかもしれません。皆さんもお気をつけて！油断禁物ですよ！



記事:WEBチーム 有馬 莉美

超懐かしのインターネット

PC やスマホから WEB サイトを見るのも LINE を送るのも当たり前の今日ですが、あえて！PC 普及したての頃のネットの思い出を掘り起こしてみようと思います。

「アナログ回線でのダイヤルアップ接続」

電話 OR インターネット！二つに一つ！どちらかしが使えない！

「ポストペット」

ピンクのクマにおやつをあげて、部屋を改装し、友達が遊びに来て…。ポスペのおやつ配布サイトから DL して解凍してインストールして…と中学生には難しかったです。

「手作りのホームページ・BBS」

個人が趣味で作った、特に意味のない HP が乱立。ページ内に必ずあったのが BBS。掲示板。HP の閲覧者達とレスを送りあいます。「荒らしは無視してください！」

私も無意味なホームページを作っていて、人気も結構あったのですが、ある日突然サーブス元に消され、儚く消えていきました。

「チャット」

大きめのコミュニティサイトに設置されていたでしたね。「こん(こんにちは)」「おち(退出します)」等、怪しげなチャット用語でよくわからない人々と会話していました。

上げるとキリがないのでこのへんで…。今の STYLISH で COOL な WEB サイトにはない黎明期ならではの情緒と、LINE や Twitter にはない不安定故の結束感、スリル、人情がありました。でも LINE は便利だと思います。



記事:WEBチーム 山室 亜耶



最近読んだ本 第一回「Filmmaker's Eye」

映画だゲームだにかまけていて本を久しく読めていなかったのでなるべく最近本を読むようにしています。なので役に立つかはわかりませんが最近読んだ本を紹介していきます。今回は「Filmmaker's Eye - 映画のシーンに学ぶ構図と撮影術: 原則とその破り方」という本です。過去映画作品のあのシーンはなぜあの構図であのシーンのつなぎなのか？など仕事柄とても勉強になるのに加えて単純に本として面白いです。実際の映画のシーンの写真を沢山使っているので結構高いですが変にワークショップに参加するよりも教材(映画)が一流なので為になるような気がします。映画好きな方であれば断然おすすめです。

記事:映像チーム 佐藤 豊

